

「雨乞いのまち鶴ヶ島」 活性化ビジョンを策定



平成28年8月7日(日)実施

鶴ヶ島市

「雨乞いのまち」、
始めました。

問合せ先 産業振興課商工労政担当

■策定の背景

脚折雨乞すねおりあまごいの理念を核としたまちづくりを行うため、地域住民の皆さんと一緒にビジョン策定の検討会を実施しました。検討会には、脚折雨乞行事保存会、市民団体、企業、農業、市役所、大学などと、様々な立場の方に参加していただき、今後のまちづくりのための基本方針について議論しました。本年度より、このビジョンで出された5つの柱に沿って、各種事業を展開していきます。

Q.脚折雨乞って何？

A.人と人、人と自然をつなぐ行事です。

江戸時代から続く伝統行事です。昭和39年を最後に一旦途切れてしまいましたが、地元の方々が地域の一体感を高めることを目的に復活させました。平成25年、ふるさとイベント大賞で最高賞を獲得しました。

Q.『雨乞いのまち』って？

A.鶴ヶ島をひとつにする合言葉です。

雨乞い行事は、「自然との共生」の中から生まれ、「地域の絆」を深めてきました。「自然との共生」そして「地域の絆」。鶴ヶ島の未来を象徴するこれらのイメージに寄り添って、明るく元気な「ふるさと鶴ヶ島」を磨き上げていきます。※「第5次鶴ヶ島市総合計画」では、＜水土里(みどり)の交流圏の構築＞と＜共に支え合う仕組みづくり＞をリーディングプロジェクトに据えています。

Q.どんなことをするの？

A.一緒に考えましょう。

ビジョンに沿ったテーマ毎に、それぞれの強みを活かした事業を検討していきます。皆さんの知恵、力、技術で、誇れるまち鶴ヶ島を創りましょう。いつでも、どなたでも歓迎しますので、まちづくりにご参加ください。

〈実施例〉



雨乞い×トラック



雨乞い×パラパラ漫画

Q.誰がするの？

A.鶴ヶ島を愛する人、みんなです。

このまちの主演は、市民の皆さんです。個人でも団体でも企業でも、それぞれの強みをまちづくりに活かしましょう。「雨乞いのまち鶴ヶ島」実現のため、未来の鶴ヶ島のため、あなたの力を貸してください。

事業テーマ(5つの柱)

テーマ1 市民関心・周知

- 雨乞いが持つ歴史や風土、自然、想いを市民で共有
- 4年に1度の行事につなげる関連イベント開催

テーマ2 認知度

- 地域資源と雨乞いの持つ理念の融合と発信
- 戦略的な地域イメージの創出・普及

テーマ3 産業・商業

- 特産品の開発・集積
- 販路開拓⇒販売量増大⇒地域ブランド化

テーマ4 行事・イベント形態

- 脚折雨乞に向けた気運高揚のための事業
- 4年に1度の行事につなげる関連イベント開催

テーマ5 環境・インフラ

- IT技術の活用
- 駅からの動線の賑わい創出
- 若葉駅西口広場や雷電池公園部分の活用

